

ヤママユガ科の飼育日誌・その4(2022年7月20日)

有峰森林文化村
撮影:伊勢指導員

有峰に分布するヤママユガ科の生態の一部を解明するため、2022年5月22日から有峰ビジターセンターにて、ミズナラの葉を与え、飼育を開始しています。
7月20日現在の終齢幼虫数は、ヤママユ12匹、ヒメヤママユ28匹、クスサン0匹です。
ヤママユの終齢幼虫、大きいものは体長7cm、体重13g、ヒメヤママユの終齢幼虫、大きいものは体長5cm、体重4gに達する個体もあります。
一方7月20日時点での蛹化数は、ヤママユが5匹、ヒメヤママユが8匹です。
引き続き羽化まで、飼育、観察を継続していきます。

【参考文献】

1) 亀山俊哉他:「ヤママユガ(天蚕)」の繁殖と利用に関する研究 ~第一報~, 岩手県立盛岡高校

種名	食樹植物	卵数	孵化数(6/21)	孵化率
ヤママユ	ミズナラ	76	23	30.3%
ヒメヤママユ	ミズナラ	85	79	92.9%
クスサン	—	91	0	0

種名	終齢幼虫数(7/20)	蛹化数(7/20)	羽化数
ヤママユ	12	5	—
ヒメヤママユ	28	8	—
クスサン	0	0	—



ヤママユの終齢幼虫(7月20日撮影)



ヒメヤママユの終齢幼虫(7月20日撮)



ヤママユの蛹(7月20日撮影)



ヒメヤママユの前蛹(7月20日撮)



ヤママユの蛹(7月20日撮影)



ヒメヤママユの蛹(7月20日撮影)